

株式会社京伸

幅広い板金加工と 細やかなニーズ対応で顧客開拓

- 納期談
- 企画力自信有
- コスト相
- メインジャンル



独自製品として開発・製造したアクアリウム関連の水槽

業務内容

高度な技術と豊富な機種で
短納期・低コスト可能に

指先程度の小型から数メートル規模の大型まで、幅広いサイズの板金製品を手がける。古川治樹社長が20年間、製缶などで蓄えてきた精密板金技術が事業の源流にある。どんな加工でも断らずに受注する経営スタイルを貫き、創業5年の若い会社ながら成長してきた。設備はレーザー加工機2台、プレスブレイキ4台などをはじめ、3次元CAD/CAMも含めると26台に上る。納期管理のバーコード化や金額管理の共有化、設計図面のペーパーレス化などの独自システムも築き、短納期・低コスト受注を可能としている。



精密加工から組み立てまで板金事業を幅広く手がける

強み

小型から大型、試作から
組み立てまでワンストップで

板金工場は通常、小型が大型のどちらかの板金のみを手がける場合が多い。しかし、同社はどちらも手がけ、さらに試作から組み立てまでカバーできる。このため顧客は注文するだけで完成品を得られるワンストップサービスが可能。レーザー加工機を駆使し、プレス絞り加工の金型を安価に製造するのも得意。プレス加工では標準の絞り加工を、簡易金型とノウハウによる板金加工で行える。これにより数個の

人材育成

若手をリーダーに抜擢、
エネルギーシユに日々成長

試作部品のためだけにつくる金型の製造コストを低減できる。自社で加工出来ないものは、協力会社とのタイアップによる納品も引き受ける。

創業が平成20年と若い会社のため、課題は人材育成。社員の半数以上を20代が占める。30〜40代には経験者もいるが、20代は技能を一から学ぶ社員が多い。そこで若手には、「積極的に仕事を任せる実践教育を導入している」と古川社長は話す。重圧感に伴うがミスしても許すため、自ら仕事に取り組み姿勢が身に付き、早ければ半年で技能の基本が身に付くという。レーザー、曲げ、溶接、加工プログラムの各部門には、20代をリーダーとして配置した。日々成長する若手のエネルギーも強みとなっている。

今後の展望

照明ケースやアクアリウム
など独自製品の開発に進出

顧客の利便性をさらに高めるため、得意とするレーザー加工では見積もりや納期をインターネット上で確かめられ、納得してから発注できるシステムの開発に取り組んでいる。一方では、照明のケースや水槽などアクアリウムの板金製品も独自開発し、製造を始めた。アクアリウムでは販売会社と協力もして、事業拡大を目指している。古川社長は「当社は図面をいただいたから仕事が始まる受け身の事業。しかし、モノづくりの技術と工場を持つので、自らも製品を生み出したい。それが励みにもなる」と意欲を示す。

COMPANY PROFILE

株式会社京伸

大阪25

当社の歴史

板金工場で工場長を務めていた私が独立し、社員3人で創業しました。当時はリーマン・ショックで経済が急激に悪化した時期のうえ、私は営業経験がゼロでした。しかし、飛び込み営業やインターネット、口コミで、同業他社が断る短納期の厳しい注文をいただき、経営を軌道に乗せてきました。設備も積極的に増やし、今では顧客が100社に上っています。

小物の精密板金から大物まで手がけるだけでなく、水槽のケースなど、自ら商品開発にもチャレンジします。



代表取締役社長 古川 治樹さん

■主な事業内容

金属加工における機構設計、精密板金、製缶、組み立て、単品試作、装置一式

■主な取引先(納入先)

自動車、介護機器、医療機器、建築金物、食品機器の各メーカー

住所 / 〒571-0017 門真市四宮 4-5-14

TEL / 072-887-6588

FAX / 072-887-6598

創業 / 平成20年2月

設立 / 平成20年2月

資本金 / 1,000万円

従業員 / 23名

<http://www.f-kyo-shin.co.jp>